

J-クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成 29 年 11 月 6 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

| | |
|---------------|--|
| 排出削減事業名 | A 重油ボイラから LPG ボイラへの更新プロジェクト |
| プロジェクト番号 | KC0078 |
| 排出削減事業者名 | 那須製紙株式会社 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 株式会社 F T カーボン (その他関連事業者名：なし) |
| 事業実施場所 | 那須製紙株式会社 (住所：栃木県那須塩原市一区町 200 番地) |
| 事業の概要 | A 重油焚き炉筒煙管ボイラ 1 基を高効率 LPG ボイラ 4 基に更新し、燃料使用量の削減を行う。又、低炭素燃料への転換によって CO2 排出量を削減する。 |
| 排出削減量の計画 | 2013 年度 313t-CO2/年 2014 年度 313t-CO2/年 2015 年度 313t-CO2 /年 2016 年度 288t-CO2/年 (J-クレジット制度 事業実施期間合計 1,227t-CO2) |
| クレジット 認証期間 | 開始日 2009 年 3 月 3 日 終了予定日 2017 年 3 月 2 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 001 「ボイラーの更新」 |

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 2 日 (6 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 排出削減量 | 1,060t-CO2 (2013年4月1日～2017年3月2日) |
|-------|-------------------------------------|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|---|
| 排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること | <p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 6回目のため該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 LPGボイラは実績確認の期間中、継続的に稼働していることを、事業者への質問、LPGの請求書、ボイラ点検報告書により確認した。</p> |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | <p>1) モニタリング方法の確認 関係者への質問、LPGの請求書の確認により、方法論及び承認排出削減計画に沿ってモニタリングが実施されていたことを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 関係者への質問、LPGの請求書の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、Jクレジット制度モニタリング・算定規定(排出削減プロジェクト用) Ver.2.8及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> |
| 算定期間が移行期間内であること | 本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2017年3月2日までであり、排出削減量を算定した期間が2017年3月2 |

| | |
|--|----------------|
| | 日を超えないことを確認した。 |
|--|----------------|

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 92.2(kL)であることを確認した。

以上